



## 工夫や対策を続ける飲食店にエールを！

矢吹 仁寿

今月20日、東京都の緊急事態宣言が解除になり、翌日からまん延防止等重点措置へ移行されました。少しずつ、町が活気を取り戻してきたように感じますが、再び感染者数が増えてきていて心配でもあります。みんなが工夫や対策を続ける中、今回は、飲食業界にスポットを当ててお話ししたいと思います。

私の育った八王子の実家は、昔からすし屋を営んでいます。亡くなった父の後を継いで、兄夫婦がお店をやりくりしています。先日電話で兄と話をしました。コロナ禍でお店の営業はかなり厳しい状況が続いているそうです。

特に今大変なことは、営業時間短縮や人数制限に加え、お店の形態上、お酒も飲みながら食すお客さんが多いため、これまで夜の時間帯に来ていたお客さんが8割ほど減ってしまったことだそうです。今後、以前のようにたくさんのお客さんで店がにぎわう日が来るかどうか、とても心配していました。

夜の売上げが激減したため、昼間の営業に活路を見出そうと、まずはランチやお弁当の販売に力を入れたそうです。しかし、朝早く起きないといけない日々が続き、体がきつく、このままでは健康を害するかもしれない危機感を強め、やむなく断念したそうです。

次に、コロナ禍で外出を控えるようになり、ネットで食事を注文する人が増えてきている現状からヒントをもらい、配達を運営する会社に登録して出前を代行してもらうようにしたそうです。そうしたら、売上げが少しずつ回復してきたそうです。

他に、どんな工夫をしているかも聞いてみました。「お店の入り口でのアルコール消毒は勿論のこと、はり紙などでお客さんへ感染予防対策の理解と協力を呼びかけ、パーテーションを設置し、徹底した換気を行う。そして、市のコロナ対策の講習会に参加して最新の情報を学び、対策に取り入れるなど、自治体から要求されたことは全て取り組み、これまで以上に、感染予防策を徹底している。」とのことでした。そして「コロナによる感染の心配がなくなり、お客さんが、笑顔で安心してお店で食事ができるようになってほしい。」とも話してくれました。

馴染みの飲食店が、私の家の周りでも少しずつ閉店に追い込まれています。そんな飲食店のためにも、三密を避ける意識を土台とし、周りのことを考えた食のスタイル、例えば、なるべく少人数で、騒がず、マスク会食も取り入れながら食事をするなどを広げ、感染者数を増やさぬ努力をみんなで続けながら飲食店を応援していきましょう。

## 学校目標

・考える子ども ・温かい子ども ・強い子ども

がつぎようじよてい  
7月行事予定

7/1	木	補習 (1・4・6年)	
2	金	安全指導日	
3	土	土曜授業、補習、避難訓練	
5	月	クラブ活動	
6	火		
7	水		
8	木	6年遠足、補習 (2・3・5年)	
9	金		
12	月	クラブ活動	
13	火		
14	水		
15	木	6年移動教室説明会、補習 (1・4・6年)	
16	金		
19	月	4年水道キャラバン、給食終	
20	火	終業式、大掃除	

※二学期は、9月1日(水)から始まります。引き取り訓練は9月1日(水)に行いますので、宜しくお願ひ致します。